

地域経済

東葉高速支援

支援がないと資金大幅減。20年で枯渇するケースも。

11月22日、東葉高速鉄道会社が今後20年間の長期取支推計を提出。前提条件として借入金金利の上昇を毎年0.3%、同0.2%、同0.1%の3ケースで平成48年度(2036年度)までの収支を推計。資金高は、0.3%でマイナス140億円、0.2%で7億円、0.1%で102億円となる。

道会社に対して「早期に自立する」という強い意志と、経営に対して責任を持つよう指導していくことを要望する。

意見・要望

(1)県は、東葉高速鉄道会社に対して「早期に自立する」という強い意志と、経営に対して責任を持つよう指導していくことを要望する。

意見・要望

(1)小規模企業の経営者からは、「行政の支援策をよくは知らない」と聞く。小規模企業の実情をよく知る社会保険労務士や税理士等を通じて、ブッシュ型の働きかけを行い、実行力のあるきめ細やかな支援を行うべきである。

(2)小規模企業で働く子育て世代の女性が、仕事と育児の両立を図るためのワーク・ライフ・バランスの課題とその取り組みは？

森田知事

(1)小規模企業等から直接意見を聞く地域勉強会や商工団体との意見交換会を27回、有識者を加えた研究会を3回開催した。今後パブリックコメントで、県民からも広く意見を求め、小規模企業の振興を重要な柱として新たに位置づける元気戦略を策定する。

(2)小規模企業ほど、両立支援制度の未整備やワーク・ライフ・バランスに消極的な傾向。セミナーを開催し企業の意識の醸成を図ること、また「働き方改革アドバイザー」を企業に派遣し、両立支援制度の整備や助成金の活用等の助言をしている。商工会議所や金融機関を通じて呼びかけ、小規模企業に支援が届くよう努めている。

意見・要望

(1)小規模企業の経営者からは、「行政の支援策をよくは知らない」と聞く。小規模企業の実情をよく知る社会保険労務士や税理士等を通じて、ブッシュ型の働きかけを行い、実行力のあるきめ細やかな支援を行うべきである。

(2)人と企業のマッチング促進の観点でも策を整備する必要がある。

現場のホンネ

多くの業務で、時間も経営も一杯一杯が現実。手を差し伸べていく積極的支援が大事！

現場のホンネ

50代以降の転職が厳しいとも聞く。人材層として活用促進し、経済成長のキーマンに！

農業

気候変動に強い農業

異常気象に適切に対応するための研究

石井としお県議

(1)近年の気象変動により農産物では、どのような影響が生じるのか？

(2)気候変動に強い農業を確立するため、県としての取り組みは？

農林水産部長

(1)国によると、水稲では「白未熟粒」の発生割合の増加と収量低下。果樹では、ナシの開花不良や、かんきつ類の「浮皮」による品質低下。カメムシ等の害虫の被害拡大等が想定されている。

(2)農林総合研究センターでは、夏場の高温に強い水稲の品種「ふさおとめ」「ふさこがね」を育成、県の水稲栽培面積の3割に普及。今後、研究機関との連携を図りながら栽培技術の開発や病害虫対策の研究を進める。

意見・要望

農林総合研究センターに対し、スマート農業の導入など先進技術の開発に向け、ハード・ソフト面での充実を要望する。

意見・要望

地域農業の振興を図るスペシャリストとして

石井としお県議

(1)農業を支援している普及指導員・普及組織の取り組みは？

(2)農業者の生活改善や、農村での男女共同参画社会の実現のキーマンとして活躍できるのではないかと

森田知事

(1)普及組織では、生産性を高める技術指導、規模拡大に向けた省力機械の導入、産地間連携等の支援を行っており、主要産地の販売額が向上していることから、今後も普及組織による産地支援を積極的に行う。

(2)普及指導員は、女性の多角的な視点を取り入れた地域資源の活用や、経営や社会への参画も支援している。今後も地域の活性化に向けた女性農業者の経営参画・社会参画を促進していく。

意見・要望

(1)地域農業の課題を解決していく普及指導員・普及組織に大きな期待がある。その活動について重要性を周知していくPRや啓発の必要がある。

(2)現場でのデータ処理やコミュニケーションツールとして、タブレット端末やICTの早期導入を強く要望する。

児童・学校教育

児童虐待防止対策

全国ワースト5位、県内の児童虐待の相談対応件数7910件

石井としお県議

(1)「千葉県子どもを虐待から守る基本計画」は、教育機関との連携・協力をどのように図っていくのか？

(2)児童虐待防止に向けて、県教育委員会での取り組みは？

森田知事

(1)現在策定中の基本計画では、人権教育及び道徳教育の推進や教育機関等の職員への児童虐待に係る研修の充実を図っていく。

教育長

(2)教職員等に対し、児童福祉司や弁護士等を講師に招いた研修会を開催し、児童虐待の現状や学校対応について理解促進に努め、また県の道徳教育の主題を「いのちのつながりと輝き」とし、命の大切さに触れる道徳教育の授業に展開されるよう各学校を指導している。

意見・要望

児童虐待の加害者のほとんどは実の親という状況に、強い危機感を持つ。

地域の力で子どもと家庭を支える環境づくりの構築も急がなくてはならない。

少人数教育

35人学級、さらに推進へ

石井としお県議

現在の「選択式の小学校3年生35人学級」の効果は？

教育長

・学習指導で、きめ細やかな指導ができるようになったと各校から声がある。

・生徒指導の面でも、きめ細やかな指導が期待できる。教職員定数の改善を引き続き国に要望し、更に推進する。

意見・要望

次世代を担う児童・生徒の教育環境の充実を図るため、学校現場の声にしっかりと対応して、発達段階に応じた少人数教育のさらなる推進を。

併せて、教員の多忙化の解消に向けた力強い後押しをお願いしたい。

現場のホンネ

「少人数学級の実現」と「教員の労働環境改善」は、同じスピードで進めていく必要がある！

石井としおプロフィール

継続は力なり

- 熱意
- 誠意
- 実行

皆さんとのふれあいと対話を大切に、「誰もが心ゆたかに生きていける、充実した福祉・文化のまちづくり」に向けて、力の限り働きます。



石井としお事務所

〒276-0006 千葉県八千代市桑納 430
TEL/FAX : 047-450-5044

石井としお

検索

千葉県議会議員

青少年相談員副会長／市PTA連絡協議会長
船橋吹奏楽団副理事長／応援団・合唱団もりのうた団長
市子連YLC副指導部長／統計協議会副会長
姉妹都市青少年交流教室(広島)団長
“ふるさときやらばん”実行応援団長
NPO「がき大将の森の会」監事
八千代市議会議員(当選4期)
市消防市民音楽隊(パーカッション)